

政策評価研修

対象 中堅職員以上
 ◎ オンライン研修が可能
 ◎ e-ラーニング置き換えが可能



研修の目標観

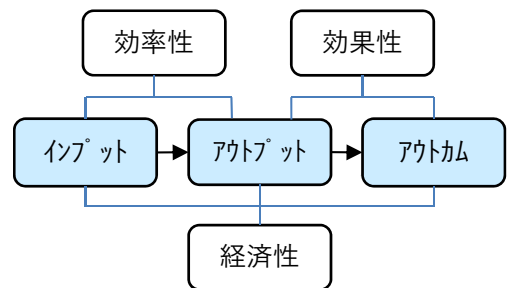
- 1 政策評価の考え方と評価の意義を理解する。
- 2 政策（施策・事業）の目的、評価指標の設定、評価基準、評価結果について理解を深める。
- 3 評価演習により、評価の基準を理解し評価のレベルを揃える。



研修のポイント

- ・政策評価の基本事項と仕組みが理解できます。実際の政策（施策-事業）を活用し、目的,目標,評価指標,評価基準などを記述演習することで理解を深めます。
- ・事業評価のケースを活用し、事業評価の方法と評価基準のレベル合わせを行います。自組織の評価指標を使って演習を行うこともできます。

【評価の基本的考え方】



※下記プログラムは一例です。貴組織のご要望に合わせてプログラムをご提案させていただきます。

	タイムスケジュール	講義形式
午前	「政策評価の必要性と意義」 ・政策評価とは ・政策評価の意義、必要性 ・政策立案 P - 政策執行 D - 政策評価 C - 方向性 A 「施策または事業の評価過程」 (1) 対象とする施策または事業の設定 (2) その背景、目的、目標の明確化 (3) インプット指標（予算、計画値、投入量） (4) アウトプット指標（何を行ったか、活動量）	講義 講義/個人/グループ演習
午後	(5) アウトカム指標（何を導いたか、貢献量） 「事例学習：評価指標（例）に基づく評価」 ①必要性 ②妥当性 ③緊急性 ④効率性 ⑤成果 ⑥方向性（強化、継続、改善、大幅見直し、廃止） ・発表（評価結果と理由、今後の方向性） ・評価例コメント ・質疑応答 「研修の振り返り」	個人検討 グループ検討 講義 個人/グループ演習